

第12回 日本電磁波エネルギー応用学会研究会 —スピントロニクス 新しい展開—

協賛：IEEE MTT-S Japan/Kansai/Nagoya Chapter

1. 日時 平成31年1月24日(木) 13:30~17:10

2. 開催趣旨

巨大磁気抵抗効果(2007年ノーベル賞)の発見以来、電子のもつ「電荷」だけでなく「スピン」のもたらす自由度が様々な機能をもたらすことが明らかになってきました。最近、スピンの自由度を活かした新しいスピントロニクス機能実現のため様々な材料や異なった材料のヘテロ構造の探求が活発に研究されています。最近では半導体ではなく金属磁性体からなるスピントロニクス素子で、マイクロ波の発振や検波が実現されるようになり、スピントロニクスと電磁波エネルギーの相互作用に注目が集まっています。

日本電磁波エネルギー応用学会では、これらの研究に最先端で取り組まれておられる第一線の研究者3名をお招きし、ご講演頂くことになりました。会員・非会員問わず積極的なご参加をお待ちしております。講演会では、基礎から応用まで幅広くご講演頂く予定です。懇親会も御座いますので、是非繋がりづくりにご活用ください。

3. プログラム

13:30~14:20 「スピン軌道相互作用の制御とスピントロニクスへの展開」
新田 淳作 先生 (東北大学)

14:20~15:10 「広い意味での半導体におけるスピン流輸送・変換の実現とその物性」
白石 誠司 先生 (京都大学)

15:10~15:30 休憩

15:30~16:20 「非平衡物質が切り拓く新規スピントロニクス素子」
齋藤 秀和 先生 (産総研 スピントロニクス研究センター
半導体スピントロニクスチーム チーム長)

16:20~17:10 パネルディスカッション
「スピントロニクス研究・開発において求められる体制、研究者、装置」

(パネリスト：3名の講師の先生方、モデレータ：(株)科学技術研究所 藤田明希氏)

17:15~ 懇親会 (会場：研究会会場と同じ)

4. 会場 〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10F

京都アカデミアフォーラム in 丸の内 大会議室 CD

交通アクセス：<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/kaf/about/access.html>

最寄り駅：JR、東京メトロ丸の内線「東京駅」直結

東京駅新幹線ホームより徒歩10分。丸の内北口改札出ですぐ。

5. 参加費用（資料代含む） -すべて税込み、領収書発行

JEMEA 会員・協賛団体会員（事前申し込み）：	4,000 円
JEMEA 学生会員：	2,500 円
JEMEA 会員・協賛団体会員（当日申し込み）：	7,000 円
非会員一般参加費：	8,000 円
非会員学生参加費：	3,000 円
懇親会：	4,000 円

※ 正会員（団体）は1団体3名まで会員扱いとなります。（複数口加入の団体は1口×3名まで）

※ 参加費は当日受付でお支払いください。（領収書発行）JEMEA 会員は、受付で年会費支払い可。

※ 非会員の方は、受付で入会申込書にご記入いただきますと、日本電磁波エネルギー応用学会の会員扱いで参加可能となります。別途入会金および平成30年度年会費として下記の年会費の半期分をお支払いいただきます。（後日振込可能。現金払いの場合は領収書発行）

【入会金】正会員（個人）2,000 円、正会員（団体）10,000 円、学生会員 0 円

【年会費】正会員（個人）5,000 円、正会員（団体）30,000 円（1口）、学生会員 2,500 円

JEMEA ご入会についてはHP 参照：入会申し込み画面：

<http://www.jemea.org/html/proposal.html>

※ 協賛団体の方は、申し込み画面の「備考欄」に所属の学会名を記載ください。JEMEA 会員と同額で参加可能といたします。

6. 申し込み方法

学会のホームページ(<http://www.jemea.org/>) トップページ「研究会コーナー」から

研究会のページ：<https://www.jemea.work/?p=313>

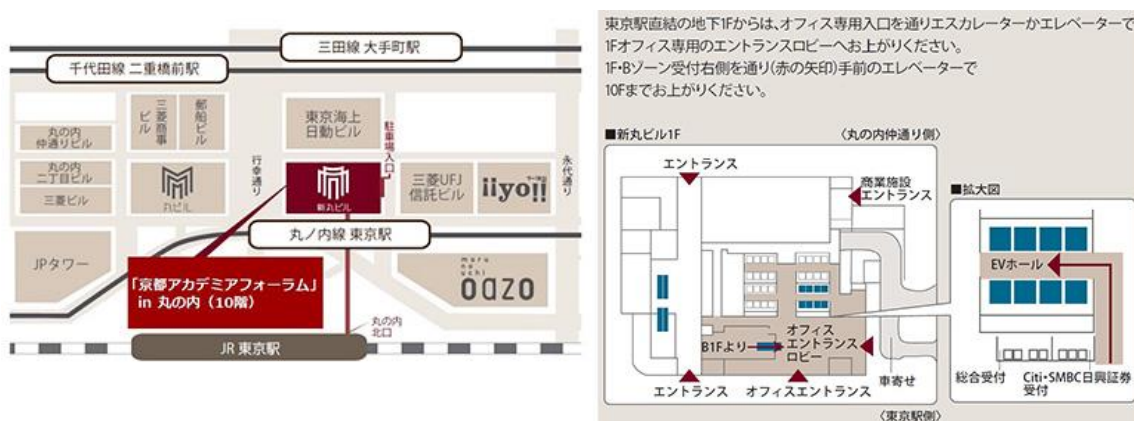
参加登録画面：https://www.jemea.work/?page_id=390

連絡先：日本電磁波エネルギー応用学会事務局 佐藤

E-mail：office@jemea.org Tel & Fax：03(3414)4554

研究会当日連絡先：090(2739)8621

【交通案内】



研究会会場
「大会議室CD」

懇親会は研究会終了後 10 分休憩をはさみ、同じお部屋で開催します。